

【参考】標準化された避難先に関する図記号

避難先に関する図記号は、地域住民はもとより、旅行者、観光客、外国人にも容易に認識しやすい図記号として、JIS規格によって統一化が図られている。

標準化された避難所に関する図記号

図記号	名称	意味	規格	制定年	規格番号
	広域避難場所	指定された広域避難場所又は避難場所を示す。	JIS	2002年	JIS Z8210
	避難所(建物)	災害時安全な避難所(建物)を示す。	JIS	2007年	JIS Z8210(追補1)
	津波避難ビル	津波に対しての安全な避難場所(津波避難ビル)を示す。	ISO	2008年	ISO20712-1
			JIS	2009年	JIS Z8210(追補2)
	津波避難場所	津波に対しての安全な避難場所(高台)の情報を示す。	ISO	2008年	ISO20712-1
			JIS	2009年	JIS Z8210(追補2)

また、内閣府(防災担当)は、平成28年3月、避難先表示の標準化を進めるため、地方公共団体に対し、以下の内容に努めるよう通知している。

- 地方公共団体が避難場所の表示板を整備・更新する際には、平成28年3月22日付けでJIS改正・制定された災害種別図記号を用いること。
- 地方公共団体が、避難場所は災害種別により異なり、それを区別する災害種別図記号を一般住民向けに周知・普及活動を行うこと。等

災害種別避難誘導標識システムに用いる図記号

災害種別	図記号			
	災害種別一般図記号	注意図記号	避難場所図記号	避難所図記号
洪水・内水氾濫		—		
津波・高潮			 	
土石流				
崖崩れ・地滑り				
大規模な火事		—		

※避難先図記号は、災害から逃げる方向に向ける等、左右反転して使用することができる。